

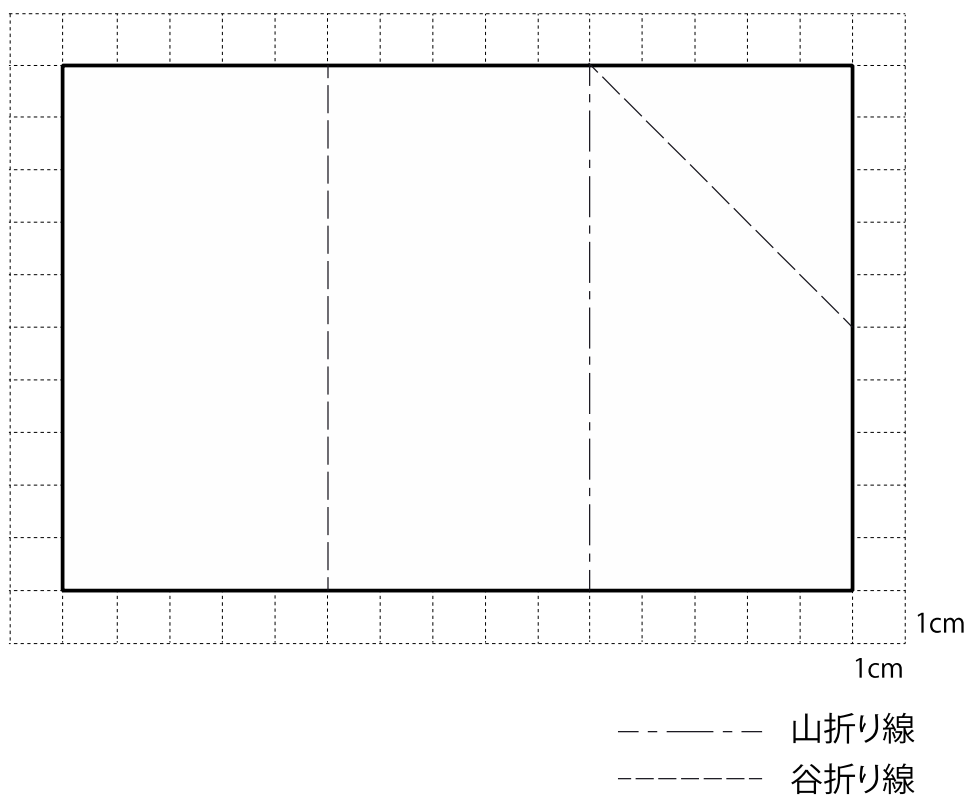
<2月前期選抜〔C日程〕>

以下の問題の解答を、鉛筆と色鉛筆を用いて画用紙にフリーハンドで描きなさい。

【問題】

一辺5cmの木目のはっきりした木製の立方体2個と、15cm×10cmの1枚の紙がある。紙の表面にはカラフルなしま縞模様、裏面には水玉模様が描かれている。この紙を図のように折加工したものと、2個の立方体が白い平面上に置かれている。この状態を想像して描きなさい。

なお、2個の立方体と折加工した紙が見えるよう配置し、縞模様や水玉模様の色やデザインは自由に設定してよいものとする。



図(表面)

【解説】

まず、内容に記載されている条件を確認しながら、どの要素を、どう配置すればよいかをイメージします。次に一つ一つを条件に合うように、下描き用紙にラフに描いてみます。

紙の裏表に描くパターンや色の違いによって、イメージが変わることを意識して色を決めます。用紙を折って表現することがメインではなく、木製の立方体とのバランスを考えて最も美しく見えるように配置してみる事が大切です。

それぞれのモノとしての存在感や立体感を出すためには、色を重ねて表現することや、陰影の描き方にも考慮することが大切です。

